

# 常任委員会・分科会報告(Q&A)

上程（議事日程に組み入れ議題とし、審議の対象とすること）された議案は各常任委員会及び分科会に付託されます。各委員会では、議案について当局より説明を受けるなど慎重に審査されています。

## 産業経済 常任委員会

### Q 通年観光事業について問う。

A 増田地区の内蔵への訪問客は、具体的な数字はみえてこない状況であるが、漠然と増えたなという印象をもっている。角館・遠野との連携を進めていく上で、この事業は有効

### Q 木質バイオマス利用施設等整備事業について問う。

A 県には、受託予定事業者である秋田スギニカ力の立ち直りに協力してほしいと要望してきた。その後、ある程度のでこ入れが必要だという県の判断から、木質バイオマス利用の取り組みを支援する目的で交付されることになった。県の意向としてはバイオマス構想を策定して、具体的に取り組んでいる自治体が最適だということで、横手市がその事業主体となる。

### Q 公共施設にカラオケを設置することに

A 雄物川地域づくり協議会の中で、高齢者が歌をうたう機会がなかなかないという意見があった。アスパルには防音施設が整っている。できれば、そこにカラオケ設備を設置して有効に活用したいという提案があったので、「元気の出る地域づくり事業」として、設置することに決めた。



ぶどう樹園地を視察（山内地域）

## 厚生 常任委員会

### Q 議案第119号「平成22年度老人保健特別会計補正予算」について、内容は何か。

A 前年度の精算により、国や県から多く交付を受けた分を返還するものである。

### Q 議案第120号「平成22年度・介護保険特別会計補正予算」について、来年度の次期計画策定に向け、予算の分析と基金のあり方をどう考えるか。

A 基金積立は3億4千万円程度見込まれるが給付の伸びにより、大部分を使い切ってしまうことが想定される。保険料の引上げも含め、厳しい運営を迫られるのではないかと考えている。

### Q 在宅で介護する人の負担軽減について。家族介護

A 障がい程度の区分判定などについて、先進地を視察してきているが、今後も施設運営を展開していく上で研修を進めていきたい。

### Q 職員の研修を積極的に行っていく考えはないか。

A グループホームの運営等、現状では採算性が非常に厳しいため、行政が進めているが、今後は民間にお願いすることも考えていかなければならない。

### Q 議案第121号「平成22年度・障害者支援施設特別会計補正予算」について、障がい者の老後が心配されるが、受入れ施設の上げに行政が関わっていく考えはないか。

A 教室や家族介護者交流会の開催に加え、日常的に家族が相談できる方策を検討している。



ごみ処理統合施設の建設予定地を視察